

公益財団法人日本郵趣協会

2025年度事業計画

【基本となる考え方】

公益財団法人日本郵趣協会（以下、「当協会」）は、郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究（以下、「郵趣」）を通して、郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承し、心豊かな潤いのある社会創造に寄与することを活動の目的とする。2022年度から掲げてきた3つの基本方針、「郵趣の深耕」「郵趣のダイバーシティ拡大」「郵趣のバリアフリー化」を2025年度も継続し、特により広く郵趣を普及するため、「郵趣のダイバーシティ拡大」「郵趣のバリアフリー化」に注力する。

一方で、会員数の減少に伴う事業収益減や寄附金減などにより当協会の財政状況は徐々に悪化しており、これまで事業収益増、経費削減の努力を継続してきた。しかし依然、財政は厳しい状況にある。この状況を打破するため、当協会では本年度から3年をかけて財政の抜本的な健全化を図り、2025年度をその一年目とする。この財政健全化への活動計画を「日本郵趣協会財政健全化3ヵ年計画」（以下、「財政健全化3ヵ年計画」）と位置付け、この取り組みの計画と実行を理事会の最優先ミッションとする。「財政健全化3ヵ年計画」では、赤字を2024年度予算に対して2025年度に半減、2026年度に1/4とし、2027年度以降は持続可能な予算策定することを目指す。「財政健全化3ヵ年計画」では、経費削減と事業収益増が2本柱となる。経費削減の大きなプランは2025年度に実施し、2026年度以降はその継続とさらなる改善に取り組む。事業収益増については、2025年度に収益の見込める新事業の検討を行い、2026年度以降の事業計画に盛り込む。

「財政健全化3ヵ年計画」の一年目となる2025年度の主要な施策は、STAMP-SHOWの収支改善とタイムカプセル郵便の再開である。STAMP-SHOWでは、自由な発想で展示ができる郵趣MYコレクション展を新設して多くの出品と参観者を集めることで活性化を図るとともに、会場面積を絞ることで経費を削減する。一方、保管スペースが確保できないことで受付を中止していたタイムカプセル郵便では、新たな保管場所の確保と制度設計の見直しにより事業を継続できる基盤整備が図れたため、2025年度から事業を再開する。さらに、他の事業でも収支改善に取り組み、事業を縮小させることなく財政の健全化を図る。

理事会が「財政健全化3ヵ年計画」に注力する一方で、2025年度もこれまで以上に充実した事業を実現する。事業の執行は委員会が担い委員会主体でその運営を実施することで、機動的な企画・執行を行う。委員会間の連携や委員会と理事会の連携は、従来通り事業執行会議で行う。2025年度は委員会のミッションを明確にするため、委員会は事業執行を担う委員会（事業別委員会）と事業共通基盤を支える委員会（共通基盤委員会）に区分する。その上で事業執行会議では、事業別委員会と共通基盤委員会の連携を軸に委員会間の連携や委員会と理事会の連携を行う。限られたリソースでの事業運営・執行には、ITの活用が有効である。共通基盤委員会として新設するIT化推進委員会でIT化に関する大きな施策を検討し、個別案件については他の委員会を含む当協会全体としてIT化を推進する。

以上の施策を遂行し、財政の健全化と事業の発展を遂行することに加え、本年度も「会員力の増強」「収益増加」の強化を図る。そのため、「展覧会来場者促進&入会キャンペーン」を展開して郵趣を共に楽しむ仲間を増やしていく。特に「郵趣のダイバーシティ拡大」で謳っている通り、さまざまな郵趣があることを理解し、幅広く仲間を募っていく。また、登録支部・団体制度により地域との連携を強化し、当協会の事業運営を支える正会員が各委員会に参画できる枠組みを推進し、パートナー・サポート企業・団体との協働の輪を広げて事業収益の多角化を図っていく。さらに、一人でも多くの会員に正会員や維持会員への移籍をお願いして当協会の財政基盤を強化するとともに、公益事業資金への功績が顕著な個人、法人・団体には表彰制度を活用していく。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出する。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施する。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

年間を通じて全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を開催する。特に4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)の期間はキャンペーンを実施するとともに、多数開催の個人・団体を表彰する。

(2) 「郵趣入門ガイドブック」

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した、「郵趣入門ガイドブック」の新規版及び更新版を制作する。全国規模の展覧会及び地方本部主催の展覧会において配布するとともに、公式ホームページに掲載して普及啓発活動を展開する。

(3) 切手ワークショップ

①切手ワークショップ「入門コース・作品コース」

会場は切手の博物館(豊島区)とし、年6回程度の開催を予定。【日程は未定】

(4) 機関誌『郵趣』

郵便切手文化に関する幅広い情報の提供、郵便切手類及び郵便制度に関する文化的知見の普及を図るとともに、当協会の事業活動の報告等を公開して当協会への参加意識を高めるため、機関誌『郵趣』を企画・監修し、頒布する。

(5) 公式ホームページ、SNS

情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報を公式ホームページ及びSNSに適時掲載し、幅広く社会一般に公開、提供する。また、Web会議「オンライン郵趣」を開催し、リアルとデジタルを連動させたハイブリッド型の普及促進を図る。

(6) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催する。併せて、功労者の顕彰、記念レセプションを開催する。

① 全国郵趣大会2025in長崎(第43回/併設：九州STAMP-SHOW2025 in長崎)

会期：9月27日(土)・28日(日)、会場：ホテルセントヒル長崎(長崎市)、企画・運営：九州・沖縄地方本部、長崎支部

②全国郵趣大会2026(第44回)[準備作業]

会期：未定、会場：未定、企画・運営：関西地方本部

(7) 切手のつどい

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催する。

①福山切手のつどい2025春

会期：4月27日(日)、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部

②岡山切手のつどい2025

会期：6月22日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山市)、主催：中国・四国地方本部、岡山支部

③防府切手のつどい2025夏

会期：7月27日(日)、会場：防府市創業・交流センター[デザインプラザHOFU](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

④筑後地方切手のつどい2025

会期：8月24日、会場：小都市生涯学習センター(福岡県小都市)[予定]、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑤福山切手のつどい2025夏

会期：10月[予定]、会場：まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、主催：中国・四国地方本部、福山支部

⑥関西郵趣家のつどい2025(切手だいすき集まれ!!)

会期：11月9日(土)、会場：大阪市立社会福祉センター(大阪市)、主催：関西地方本部

⑦防府切手のつどい2026冬

会期：2026年1月25日(日)、会場：防府市創業・交流センター[デザインプラザHOFU](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑧北九州切手のつどい2026

会期：2026年2月11日[予定]、会場：北九州会議場(福岡県北九州市)[予定]、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部

⑨広島切手のつどい2026

会期：2026年2月22日(日)、会場：広島南区民文化センター(広島市)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催する。また、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図る。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり STAMP-SHOW2025

企画展示「昭和100年」展の開催、非競争切手展「郵趣MYコレクション展2025」の出品物を公募する。併せて、パートナー・サポート企業・団体と協働した企画イベントを実施するとともに、来場者促進キャンペーンを展開する。

会期：4月11日(金)～4月13日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、(株)鼓月、町田酒造(株)、[以上予定]、協力：切手の博物館、郵政博物館、日本郵便切手商協同組合 [以上予定]

②第60回全国切手展(略称:JAPEX2025)

企画出品の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争出品を公募する。併せて、公式ガイドブックを制作して研究発表の成果を広く一般に公開するとともに、来場者促進キャンペーンを実施して周知を図る。

会期：10月31日(金)～11月2日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：産経新聞社、東京新聞、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)日本郵趣出版、(株)町田酒造 [以上予定]、協力：(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合、日本郵便切手商協同組合 [以上予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①アスピラート防府切手展2025

会期：4月18日(金)～20日(日)、会場：アスピラート[防府市地域交流センター](山口県防府市)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

②STAMP-SHOW in広島2025

会期：5月17日(土)・18日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、主催：中国・四国地方本部、STAMP-SHOW in広島実行委員会

③STAMP-SHOW in横浜2025

会期：5月17日(土)・18日(日)、会場：かながわ県民センター(横浜市)、主催：関東地方本部、横浜支部、相模原支部、湘南郵趣の会

④STAMP-SHOW in徳山2025

会期：6月14日(土)、会場：徳山保健センター(山口県周南市)、主催：中国・四国地方本部、周南支部

⑤関西STAMP-SHOW2025

会期：8月2日(土)・3日(日)、会場：大阪マーチャンダイズ・マートビル[OMMビル](大阪市)、主催：関西地方本部

⑥九州STAMP-SHOW2025 in長崎

会期：9月27日(土)・28日(日)、会場：ホテルセントヒル長崎(長崎市)、主催：九州・沖縄地方本部、長崎支部

⑦STAMP-SHOW inかごしま2025

会期：10月4日(土)・5日(日)、会場：サンプラザ天文館(鹿児島市)、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部

⑧STAMP-SHOW inはかた2025

会期：10月18日(土)・19日(日)[予定]、会場：TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部

⑨STAMP-SHOW in高松2025

会期：11月15日(土)・16日(日)、会場：アイパル香川[香川国際交流会館](香川県高松市)、主催：中国・四国地方本部、高松支部

⑩大阪春の切手展2026 in 京セラドーム大阪スカイホール

会期：2026年3月7日(土)・8日(日)、会場：京セラドーム大阪スカイホール(大阪市)、主催：関西地方本部

(3) 展覧会への出品促進

①郵趣MYコレクション展の応募ガイドの配布

②JAPEXルールブック(応募の手引き)の配布

③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

④クリティークの実施

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内審査員の育成を図る。また、審査実務に関する郵趣セミナーを開催するとともに、世界の展覧会の潮流と審査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図る。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、郵便切手類に関するデータ並びに郵

便制度に関する学術研究を基に、各種出版物の発行及び監修を行う。

(1) 定期刊行物の発行

- ①週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊／50回発行
- ②郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊／6回発行
- ③WEB版『世界新切手ニュース』月刊／12回配信
- ④WEB版『郵趣ウィークリー』週刊／50回配信
- ⑤WEB版『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊／6回配信

(2) 切手カタログの監修

- ①『さくら日本切手カタログ2026』
- ②『ビジュアル日専 記念・特殊切手編1894-1944』

4. 学術調査研究事業

郵便切手文化に関する研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会(ミニペックス)、郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催する。

(1) 研究会

専門分野別に研究会を設置して学術調査研究の充実・発展を図るとともに、未分野の研究会発足を促進するため、主として切手の博物館(豊島区)において月例会を開催する。また、オンライン月例会を開催し、全国の専門収集家との交流、研究成果の共有に努める。

(2) 研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開する。研究発表会では、研究作品の背景と郵趣の本質を分かりやすく説明する作品解説等を実施する。[研究発表名は予定]

①アメリカ切手展2025 america'25

会期：5月9日(金)～5月11日(日)、研究発表：アメリカ郵趣研究会

②第37回昆虫切手展

会期：6月7日(土)・8日(日)、研究発表：昆虫切手研究会

③イギリス切手研究会切手展2025

会期：6月21日(土)・22日(日)、研究発表：イギリス切手研究会

④第14回世界の植物切手展

会期：7月4日(金)～7月6日(日)、研究発表：植物切手研究会

⑤訪欧飛行100周年記念JPS航空郵趣研究会展 AEROPEX2025

会期：9月27日(土)・28日(日)、研究発表：航空郵趣研究会

⑥第22回震災切手と震災郵趣展

会期：10月3日(金)～10月5日(日)、研究発表：震災郵趣研究会

⑦第22回絵画切手展

会期：10月25日(土)・26日(日)、研究発表：絵画切手研究会

⑧ヨハン・シュトラウスⅡ生誕200年記念音楽切手展

会期：11月8日(土)・9日(日)、研究発表：音楽切手研究会

⑨第18回聴覚障害者切手研究会切手展

会期：11月15日(土)・16日(日)、研究発表：聴覚障害者切手研究会

⑩NORDEX2025

会期：11月29日(土)・30日(日)、研究発表：北欧切手研究会

⑪第10回関東郵趣サロン 楽しい切手展

会期：2026年1月23日(金)～1月25日(日)、研究発表：関東郵趣サロン研究会

⑫第23回ドイツ・オーストリア切手展

会期：2026年3月6日(金)～8日(日)、研究発表：ドイツ切手研究会

⑬第17回テーマティック研究会切手展

会期：2026年3月14日(土)・15日(日)、研究発表：テーマティック研究会

⑭パソコン郵趣切手展2026

会期：2026年3月21日(土)・22日(日)、研究発表：パソコン郵趣研究会

(3) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、その知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを開催し、出版物等を活用して学術事例を発表・公開する。

(4) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の多様な形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出する。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進する。

(1) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進する。

① アジア国際切手展「THAILAND 2025」への出品促進

会期：8月8日(金)～8月12日(火)、会場：バンコク中央郵便局(タイ・バンコク)

②国際切手展「PHILAKOREA 2025」への出品促進

会期：9月17日(水)～9月21日(日)、会場：COEX麻谷(韓国・ソウル)

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

海外郵政機関の協力を得て、文化イベント等を企画・実施してPR効果を高め、国際文化交流の活性化に努める。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施する。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するため、情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努める。

(2) 文化インフラの構築

郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図るため、その文化インフラを構築する。

①コレクション処分市制度

②使用済み切手&書き損じはがきの募集及び社会的活用

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに学術研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図る。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考する。

- ①第46回中島健蔵・水原明窗記念賞
- ②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)
- ③第45回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)
- ④第45回郵趣文献賞
- ⑤第42回小倉謙賞
- ⑥第40回住野正顕賞
- ⑦第5回手嶋康賞
- ⑧登録支部・団体50周年特別表彰

(2) 授賞式

選考結果は機関誌『郵趣』及び公式ホームページにおいて公開するとともに、授賞式は公開で実施する。

8. 社会貢献・地域支援事業

パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行うとともに、登録支部・団体及び公益活動への支援を行い、ボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組む。

(1) 「手紙を書こう!プロジェクト2025」

①タイムカプセル郵便

募集期間：2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火)

②ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2025

作品発表会：8月24日(日)、会場：としま区民センター(豊島区) [予定]

③「Letter Park」、切手デザイナーとの連携

④「切手の博物館」手紙プロジェクトとの連携

(2) 登録支部・団体への支援

①研究発表の支援及び広報協力

②展覧会及び切手教室への助成

(3) ボランティアの醸成

①郵趣のための押印講習会(技能認定制度)

②展覧会運営ボランティアの公募

(4) 公益活動への支援

①文具&手紙マルシェ2025、会期：4月12日(土)・13日(日)、[主催：(一財)水原フィラテリー財団]

②第7回全国切手展スタンペックス・ジャパン2026、会期：2026年3月[予定]、[主催：(公財)通信文化協会、(特非)郵趣振興協会]

③第29回目白ロードレース、会期：2026年3月[予定]、[主催：目白ロードレース実行委員会]

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、幅広く多くの方々から寄付を募るとともに、益金は広く社会一般に還元する事業のために充当する。

(1) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

(2) STAMP-SHOW2025寄附金(特別寄附金)

- (3) JAPEX2025寄附金(特別寄附金)
- (4) STAMP-SHOW2026寄附金(特別寄附金)
- (5) 特別寄附金の表彰制度(特別表彰、マルチプル表彰、メジャードナー表彰)

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図る。

(1) 会員の維持・拡大

当協会の事業を紹介した入会案内リーフレットを制作して、新規会員獲得に向けたキャンペーン施策を強化する。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供する。

①春の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン(さくら日本切手カタログ、STAMP-SHOW)

②秋の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン(JAPEX)

③ご移籍のお願いキャンペーン(普通会员から正会員、正会員から維持会員への移籍のお願い)

④『正会員会報』月刊/12回発行

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進する。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを強化する。

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2026

会期：2026年1月10日(土)、会場：未定、主催：関東地方本部

②大阪・新春交歓会2026

会期：2026年1月12日(月・祝)、会場：大阪キャッスルホテル(大阪市)[予定]、主催：関西地方本部

(2) 郵趣大会

①東北郵趣大会2025in仙台

会期：6月7日(土)・8日(日)、会場：仙台サンプラザホテル(仙台市)、主催：北海道・東北地方本部、仙台支部

②関東郵趣大会2025in茂原

会期：6月14日(土)、会場：茂原市総合市民センター(千葉県茂原市)、主催：関東地方本部、茂原支部

③北海道郵趣大会2025in札幌

会期：9月27日(土)・28日(日)、会場：ホテルサンルート札幌(札幌市)、主催：北海道・東北地方本部、札幌中央支部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現する。